



日本化学工業株式会社

2026年3月期 第1四半期 連結業績概要

2025年8月7日

日本化学工業株式会社 4092

© Nippon Chemical Industrial Co., Ltd.

26年3月期 第1四半期 実績

- 前年同期比で売上高は増加も、営業利益は減少
- 期初想定（5/14公表）比では売上高は増加、各段階利益は大幅伸長。電子セラミック材料（MLCC向け）を中心とした数量増加や、為替相場の円高推移が貢献

26年3月期 見通し (上方修正)

売上高：405億円、営業利益：32億円

- **業績予想を上方修正。**最新の需要と為替の動向を反映
- 電子セラミック材料の数量増加による原価改善で営業利益が改善へ
- 為替前提158円から145円へ修正

株主還元 (増配)

年間配当金を120円へ引き上げ（前期比+28円）

- 業績上方修正に伴う増配
- 配当方針「総還元性向40%またはDOE2%のいずれか高い方」

1

2026年3月期 第1四半期 連結業績概要

◆売上高は前年同期比5.5%増、営業利益は同34.2%減

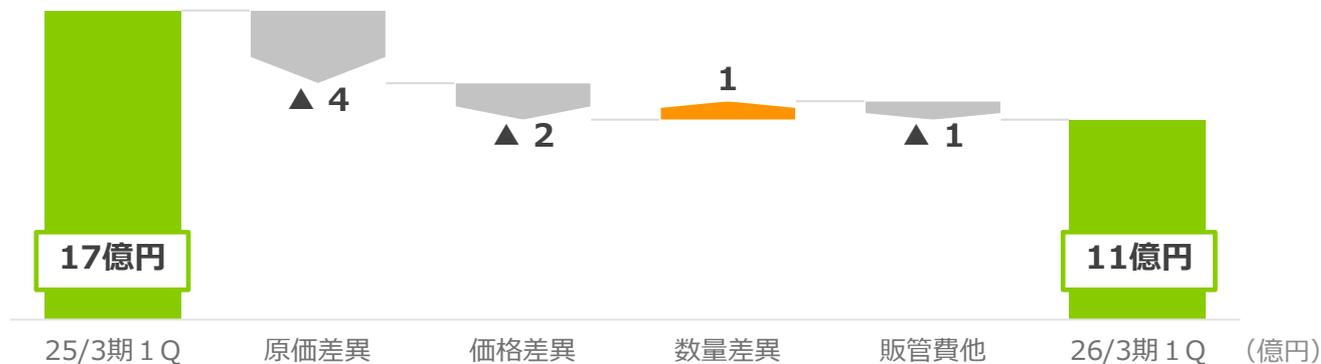
- ・ 化学品事業、機能品事業ともに売上数量が増加し、売上高が増加
- ・ 営業利益は減少
 - 生産拠点の集約に伴う費用の発生
 - 電池材料における原材料市況価格の変動と販売価格への転嫁にタイムラグ
 - 一部棚卸資産における評価損失の減少効果が剥落
 - 売上増加に伴う利益改善効果はあるも、上記要因により前年同期比で減少
- ・ 期初想定比では売上高・営業利益ともに大幅に進捗
 - 機能品事業の電子セラミック材料の需要が増加
 - 原材料調達コストが低下し原価が改善
- ・ 連結子会社の土地売却に伴う固定資産売却益を計上

2026年3月期 第1四半期 決算状況

(百万円)	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	10,379	10,949	570	5.5%
営業利益	1,688	1,110	▲ 578	▲ 34.2%
営業利益率	16.3%	10.1%	▲ 6.2pt	
経常利益	1,741	1,134	▲ 607	▲ 34.9%
純利益	1,252	1,203	▲ 48	▲ 3.9%
EBITDA [※]	2,623	2,062	▲ 561	▲ 21.4%
1株あたり利益 (円)	141.94	137.74	-	-

※EBITDAは簡易版を使用（営業利益＋減価償却費）

【営業利益の増減要因（前年同期比）】



2026年3月期 第1四半期 事業別の収益

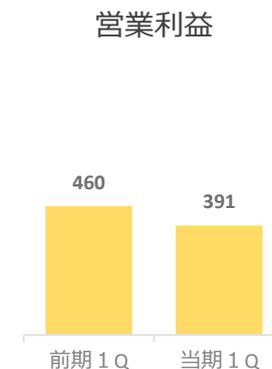
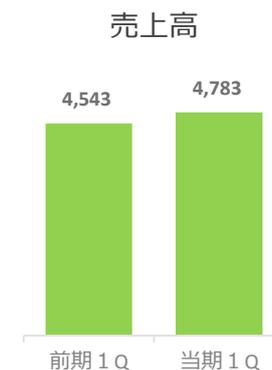
(百万円)		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減	増減率
化学品	売上	4,543	4,783	240	5.3%
	営業利益	460	391	▲ 69	▲ 15.0%
機能品	売上	5,420	5,870	450	8.3%
	営業利益	1,082	577	▲ 505	▲ 46.7%
賃貸	売上	228	234	5	2.6%
	営業利益	139	139	0	0.0%
その他	売上	186	60	▲ 125	▲ 67.7%
	営業利益	▲ 0	▲ 5	▲ 5	-
合計	売上	10,379	10,949	570	5.5%
	営業利益	1,688	1,110	▲ 578	▲ 34.2%

2026年3月期 第1四半期 化学品事業の売上高



(百万円)	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減	増減率
クロム製品	1,358	1,454	96	7.1%
シリカ製品	618	615	▲ 3	▲ 0.5%
りん製品	1,692	1,710	18	1.1%
その他	872	1,003	131	15.0%
合計	4,543	4,783	240	5.3%

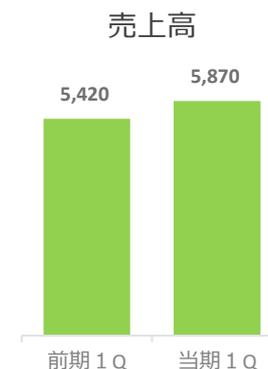
- ◆クロム製品：めっき向け好調
- ◆シリカ製品：堅調
- ◆りん製品：堅調



2026年3月期 第1四半期 機能品事業の売上高



(百万円)	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減	増減率
電子セラミック材料 計	2,378	2,621	243	10.2%
有機機能材料 計	1,290	1,656	366	28.4%
電池・電子デバイス材料 計	1,408	1,191	▲ 217	▲ 15.4%
その他	342	400	58	17.0%
合計	5,420	5,870	450	8.3%



◆電子セラミック材料：車載向けで堅調、通信向けで大幅伸長

◆有機機能材料

- ホスフィン誘導体：有機合成用触媒原料で大幅落ち込みも、海外向け触媒や量子ドット向けで大幅伸長

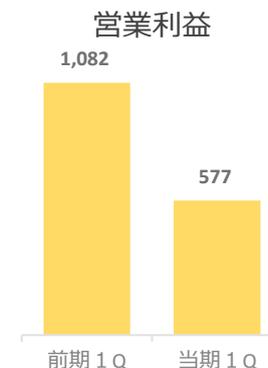
- 農薬原体：主要顧客向け大幅伸長

◆電池・電子デバイス材料

- 電池材料：資源価格の下落

- 回路材料：異方性導電材料向け低調、接着剤向け大幅落ち込み

- 高純度電子材料：半導体向け需要回復



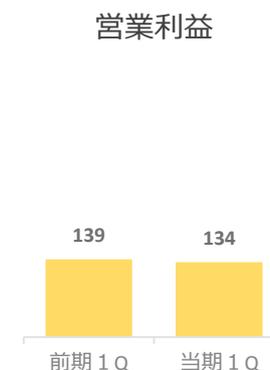
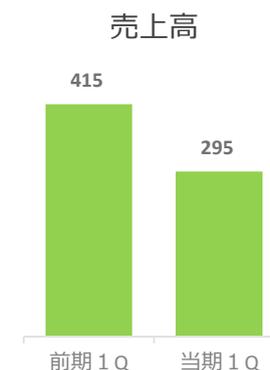
2026年3月期 第1四半期 賃貸・その他の売上高



(百万円)	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減	増減率
賃貸	228	234	5	2.6%
書店経営	127	-	▲ 127	-
その他	59	60	1	1.7%
合計	415	295	▲ 120	▲ 28.9%

◆賃貸：主要テナント堅調

※書店経営は前年度に事業撤退を行いました



財政状態



(百万円)	2025年3月末	2025年6月末	増減	主な増減要因
流動資産	31,448	32,719	1,271	現預金▲302、棚卸資産▲362
固定資産	43,656	43,494	▲ 162	有形▲22、投資有価証券▲149
資産合計	75,105	76,214	1,109	
流動負債	20,106	20,767	661	支払手形・買掛金518
固定負債	8,602	8,446	▲ 156	繰延税金負債▲144
負債合計	28,709	29,714	1,005	
株主資本	41,267	42,068	801	利益剰余金801
その他の包括利益累計額	5,128	4,930	▲ 198	その他有価証券評価差額金▲112
純資産合計	46,395	46,999	603	
負債純資産合計	75,105	76,214	1,109	
自己資本比率 (%)	61.8%	61.7%	▲0.1pt	D/Eレシオの目安：0.4倍程度

2

2026年3月期 連結業績見通し

◆通期業績予想の修正

- ・第1四半期の業績および第2四半期以降の最新の見直しを反映し、通期連結業績予想を上方修正
- ・売上高増加に伴う原価改善や想定為替レートの見直しにより、各段階利益が前回発表予想を大幅に上回る見込み

(百万円)	5/14公表	今回見直し	増減	増減率
売上高	39,000	40,500	1,500	3.8%
営業利益	1,400	3,200	1,800	128.6%
純利益	1,100	2,600	1,500	136.4%
為替 (¥/\$)	158	145		

◆株主還元（配当）

- ・今回修正した業績予想に基づき、25年度の年間配当予想を前期比+28円の120円へ増配（中間60円、期末予想60円）

2026年3月期 連結業績見通し



最新の情報に基づき、業績見通しを上方修正

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期		期初予想比較	
	実績	5/14公表	今回見通し	増減	増減率
売上高	38,843	39,000	40,500	1,500	3.8%
営業利益	3,342	1,400	3,200	1,800	128.6%
営業利益率	8.6%	3.6%	7.9%	4.3pt	
経常利益	3,199	1,400	3,200	1,800	128.6%
純利益	2,559	1,100	2,600	1,500	136.4%
EBITDA [※]	6,924	5,300	7,100	1,800	34.0%
ROE	5.6%	2.4%	5.5%	3.1pt	-
1株あたり利益 (円)	290.62	125.92	297.63	-	-
配当金 (円)	中間 : 46円 期末 : 46円 年間 : 92円	中間 : 53円 期末 : 53円 年間 : 106円	中間 : 60円 期末 : 60円 年間 : 120円	-	-
設備投資額	4,966	6,200	5,500	▲ 700	▲ 11.3%
減価償却費	3,582	3,900	3,900	0	0.0%
研究開発費	1,598	1,500	1,500	0	0.0%
為替 (¥/\$)	152	158	145		

※EBITDAは簡易版を使用 (営業利益 + 減価償却費)

2026年3月期 営業利益の増減要因予想

<原価差異の主な要因>

- ・ 棚卸資産の評価損減少効果の剥落
- ・ 原材料価格の上昇、減価償却費の増加

<価格差異の主な要因>

- ・ 販売価格の値下（電池材料）

※対ドル想定：

152円（前年実績）→ 158円（5/14公表）

<原価差異の主な要因>

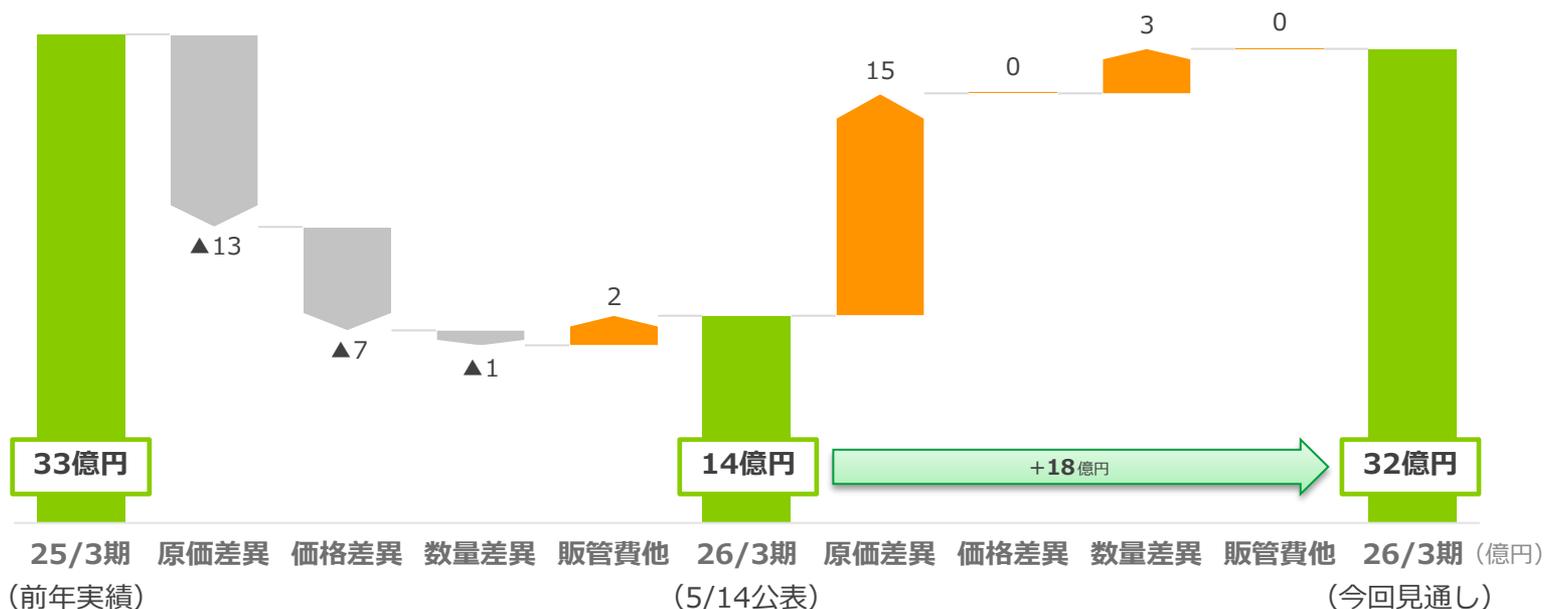
- ・ 電子セラミック材料の稼働回復効果
- ・ 原材料調達コストの低下

<数量差異の主な要因>

- ・ 電子セラミック材料の数量増加

※対ドル想定：

158円（5/14公表）→ **145円**（今回見通し）



2026年3月期 事業別の収益見通し

	(百万円)	2025年3月期	2026年3月期		期初予想比較	
		実績	5/14公表	今回見通し	増減	増減率
化学品	売上	18,285	18,700	18,500	▲ 200	▲ 1.1%
	営業利益	1,542	1,550	1,800	250	16.1%
機能品	売上	18,876	19,000	20,700	1,700	8.9%
	営業利益	1,213	▲ 700	850	1,550	-
賃貸	売上	917	915	915	0	0.0%
	営業利益	545	545	545	0	0.0%
その他	売上	763	385	385	0	0.0%
	営業利益	31	5	5	0	0.0%
合計	売上	38,843	39,000	40,500	1,500	3.8%
	営業利益	3,342	1,400	3,200	1,800	128.6%

2026年3月期 化学品事業の売上高見通し

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期		期初予想比較	
	実績	5/14公表	今回見通し	増減	増減率
クロム製品	5,437	5,550	5,550	0	0.0%
シリカ製品	2,347	2,250	2,300	50	2.2%
りん製品	6,759	6,900	6,750	▲ 150	▲ 2.2%
その他	3,739	4,000	3,900	▲ 100	▲ 2.5%
合計	18,285	18,700	18,500	▲ 200	▲ 1.1%

<売上高の差異要因> (5/14公表→今回見通し)

◆クロム製品

5/14公表値から変更なし

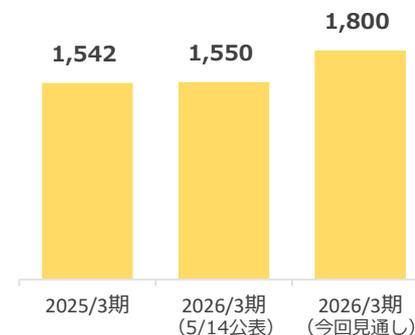
◆シリカ製品

売上回復を見込む

◆りん製品

液晶・半導体向けは数量増加も、一般工業向けで需要動向が不安定

営業利益



2026年3月期 機能品事業の売上高見通し



(百万円)	2025年3月期	2026年3月期		期初予想比較	
	実績	5/14公表	今回見通し	増減	増減率
電子セラミック材料 計	8,446	8,750	10,600	1,850	21.1%
有機機能材料 計	4,212	3,900	3,900	0	0.0%
電池・電子デバイス材料 計	4,771	4,650	4,550	▲ 100	▲ 2.2%
その他	1,446	1,700	1,650	▲ 50	▲ 2.9%
合計	18,876	19,000	20,700	1,700	8.9%

<売上高の差異要因> (5/14公表→今回見通し)

◆電子セラミック材料

MLCC (積層セラミックコンデンサ) の需要は、車載・通信向けともに想定を大きく上回り増加が見込まれる。

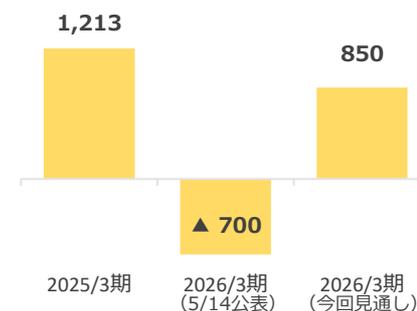
◆有機機能材料

5/14公表値から変更なし

◆電池・電子デバイス材料

高純度電子材料は半導体向けの需要回復に遅れが見られ減少を見込む

営業利益



2026年3月期 賃貸・その他事業の売上高見通し

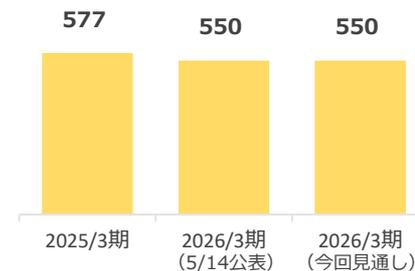


(百万円)	2025年3月期	2026年3月期		期初予想比較	
	実績	5/14公表	今回見通し	増減	増減率
賃貸	917	915	915	0	0.0%
書店経営	461	-	-	-	-
その他	302	385	385	0	0.0%
合計	1,681	1,300	1,300	0	0.0%

<売上高の差異要因> (5/14公表→今回見通し)

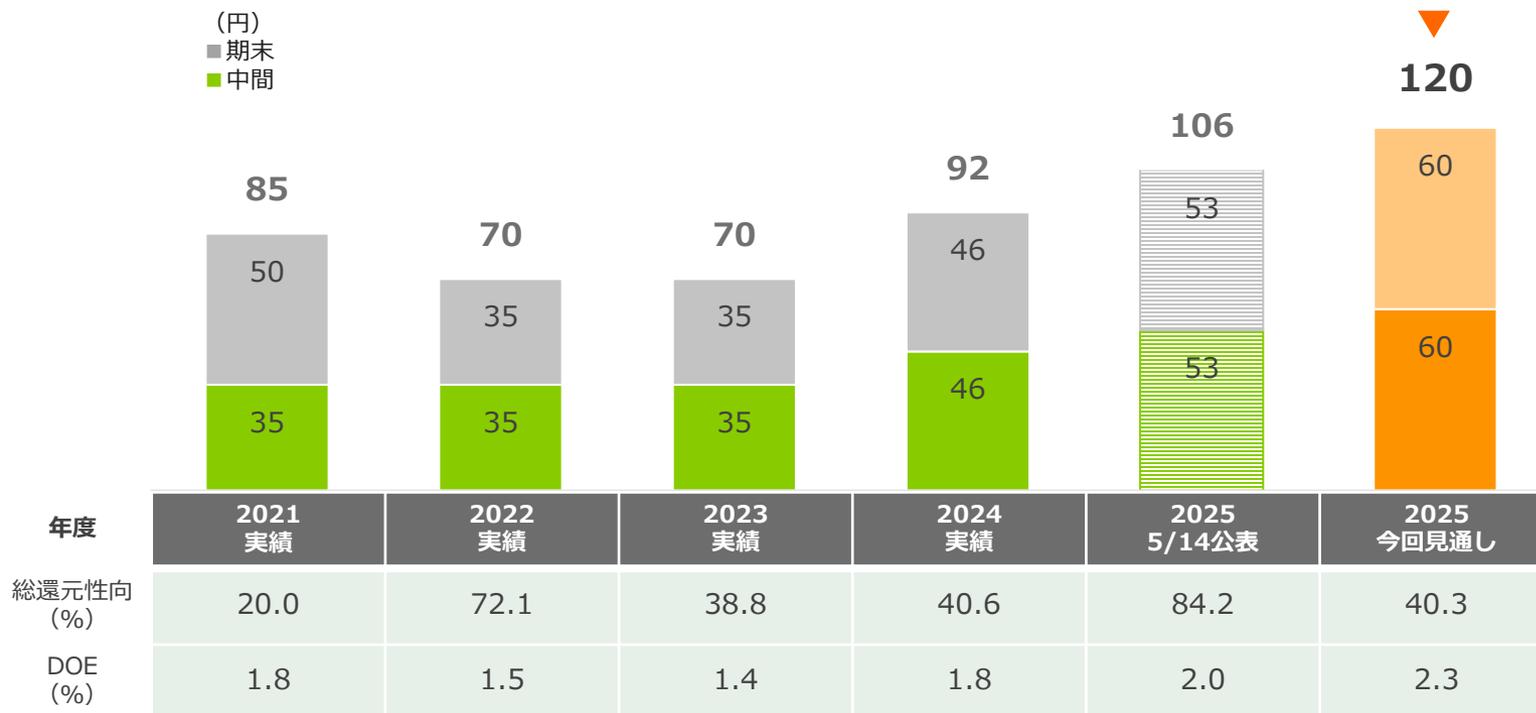
5/14公表値から変更なし

営業利益



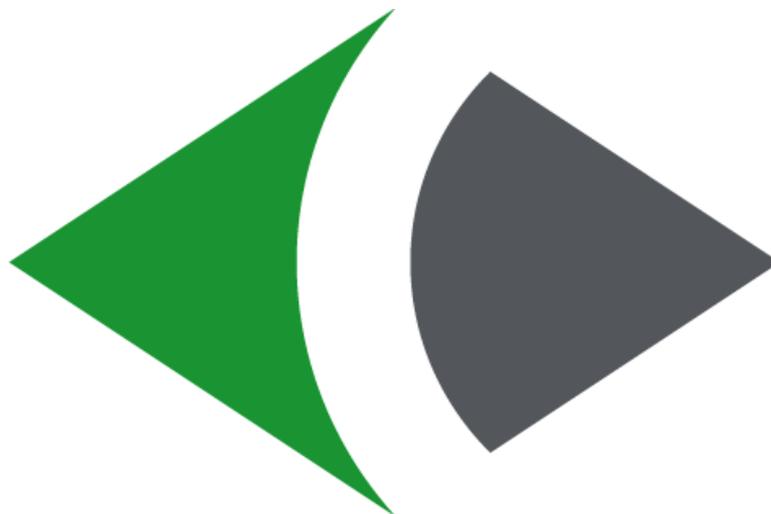
業績予想の修正を踏まえ、株主還元を強化

配当の推移



配当方針（2025～2026年度）

総還元性向40%またはDOE2%のいずれか高い方を基準に、安定的かつ継続して配当を行う



日本化学

本資料に記載されている業績予想や事業計画は、当社が現在入手可能な情報および一定の前提条件に基づいて作成したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な要因により、実際の業績等は異なる可能性があります。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願い致します。